

La vida de HONDURAS 土屋晶子さんからのお便り

スペイン語で「ホンジュラスでの生活」という意味です。 Vol.01



ホームステイ先：近所の子どもたちと、家族の誕生パーティー

¡Hola todos! ¿Cómo están? こんにちは、みなさん！お元気ですか？

◆ホンジュラスからの初便りです◆

現在、サンタルシアという街で、ホームステイをしながらスペイン語学校に通っています。というのも、駒ヶ根での勉強だけではまだまだ足りないんです。現地の学校は、言葉だけでなく、ホンジュラスの文化を学ぶよい機会です。小さい街なので、先生や家族だけでなく、近所の人々、雑貨屋のおじさん、パン屋のおばちゃん、毎朝見かける学生たち…「Hola! (オウ)」と一言あいさつをすれば、あっという間にお友達。つたないスペイン語会話にみんな快く付き合ってくれ、街の人々みんなが手伝ってくれます。使える言葉を精一杯見つけて、何とかつなげて、会話ができたときの感動があるから、ますます勉強したいと思えるんですね。こんなに楽しく勉強をした経験は今までにないというくらい、日々充実しています。

◆ファミリー紹介◆

パパ、ママ、子どもたち(14歳のお兄ちゃん、10歳のお姉ちゃん、9か月の赤ちゃん)と私の6人暮らしです。学校では日本語をしゃべることができませんが、家では常にスペイン語！満足に話ができているかと言うと…なかなかそうはいかないんですね。言っていることが分からなくて、伝わらなくて、言いたいことが言えなくて、もどかしい気持ちになることはしょっちゅう。それでも同じ人間。「もっと仲良くなりたい」という気持ちが互いにあるれば、言葉の壁を越えられると信じて、辞書を片手に、メモ帳を片手に、絵を書きながら、それでも通じなかったときはとりあえずニコッと笑ってみて…1か月過ぎた今でも苦労は変わりませんが、今や仲良し大家族の一員にすっかりなじんでいます！日本から持っていった折り紙、けん玉、お手玉などを子どもたちに紹介しながら(大好評！)、スペイン語を教わりながら元気に暮らしています。

◆食べ物紹介◆

日本の主食は「お米」ですが、ホンジュラスの主食はなんと！「とうもろこし」。とはいっても、日本の食べ方とは違い、とうもろこしをつぶして作った粉を水に溶き、薄く生地をのばして焼いた「トルティージャ」と呼ばれるもので、それ自体にほとんど味はありません。毎食食卓はトルティージャが置かれ、おかずやごはんをくるんで食べています。ホンジュラスでは、ごはんもトルティージャのおかずの1つ！そのためおかずやごはんには日本よりも濃い目の味付けがされています。日本人の私には塩辛く感じることもありますが、トルティージャにくるんで食べるとちょうどいいんです。私たちが漬物、梅干と一緒にごはんを食べるような感じでしょうか？！トルティージャのない食卓が想像できないくらい、すっかりこっちの食べ物になじんできています！

8月下旬頃に保健師としての活動が始まります。また、みなさまにお便りします。ぜひお付き合いください！



【昭和43年頃】馬瀬口区長泉寺の季節保育園。子どもたちは、夏場の農作業の忙しい時期、それぞれの地区が開設した季節保育園に預けられていました。馬瀬口区清水巖さん所有

町制施行50周年記念

「懐かしの写真展」開催

期間 9月30日～10月22日

場所 エコールみよたエントランスホール

問い合わせ

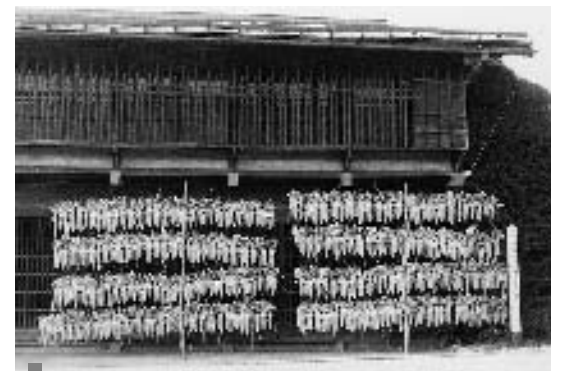
役場総務課庶務係 ☎32-3111内線24・25番

町制施行50周年を記念して、写真で町の50年を振り返ろうと、みなさんから応募いただいた写真の展覧会を開催します。写真を見ながら当時を思い出し、家族の歴史を振り返ってみてはいかがでしょう？

あの時、今ほど便利じゃなかったけれど、時間は、ゆったりと流れていた気がする。



【昭和32年頃】清万の風景。町内の大半の道路は未舗装、農作業の労力は牛などでした。清万区大谷玲子さん所有



【昭和35年頃】小田井宿上間屋とトウモロコシ。軒先に乾されたトウモロコシは乾した後で粉にして食用にしていた。西軽井沢区山原史子さん所有